

					(別紙3)
	公表 事業所における自己評価総括表				
○事業所名		児童発達支援教室バンビ			
○保護者評価実施期間		R7年 11月 1日		～	R7年 11月 30日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	13	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間		R7年 11月 1日		～	R7年 11月 30日
○従業者評価有効回答数		(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		R7年 12月 1日			
○分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの満足度の欄は3箇所とも全員から「はい」の回答を頂戴し、満足度の高い療育を提供できている。		毎回楽しく来所出来るように、一人一人の児童の好みを把握し活動に活かし、また固定化されないように内容を日々変えている。個別支援計画を作成する時はご家族のニーズに添えるようにヒアリングやアセスメントを重要視している。		今後も更に、楽しく通える工夫を凝らしていきたい。また、面談時のヒアリングもより丁寧に行いたい。その他にも、児童やご家族の希望に添えるように努力したい。
2	適切な支援の提供についても、保護者より高い評価を頂けている。		職員の専門性を高められるように、外部研修の参加や職場内研修を積極的に取り入れている。また、理学療法士、言語聴覚士、保育士など在籍している職員の保有資格が様々なので朝礼や日々の振り返り、会議の中で様々な角度からの話し合いができています。		今後も、職員の専門性を高め質の高い支援の提供を行えるようにその日の支援内容の確認と周知を徹底したい。
3	説明が丁寧とのご意見を多く頂戴し、信頼関係の強化につながっている。		連絡帳の記載やチャットアプリなどを使用し、保護者が常に相談しやすい環境を整えている。連絡帳やチャットベースでの回答が難しい場合はお電話やZoomなどを使用して可能な限り丁寧に回答できるように心がけている。		今後もその都度必要なツールを用いて保護者とのコミュニケーションを取っていきたい。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会やペアレントトレーニングが周知できるほど行っていない。		回数が少ないため、ご希望調査を取り、ご希望者には可能な限り提供していきたい。		ご希望調査を取り、可能な限りの実施。
2	従業者アンケートより振り返りの時間がもう少しほしいという案が出ている。		送迎や個々の業務、会議が重なり、難しい時間も多。		振り返りや連絡事項はチャットアプリのノート機能を使用し、全員が把握できる環境を整える。
3	防災訓練や日々の様子のご案内が周知できておらず、「わからない」や「どちらとも言えない」とのご回答がある。		周知のご案内があまい。		面談などの際にブログのご案内を行い、より周知できるようにしていきたい。